

小平市議会議員
日向みさ子

一般質問

障がい者(児)の相談支援を充実し、暮らしやすい地域づくりを

障害者総合支援法には相談支援計画を作成する制度が位置づけられました。生活全般について相談し計画を作成するための予算確保と相談支援専門員を増やす施策を求めました。また、幼児期の気がかりを気軽に相談でき、生涯を通して支援できる発達支援センター設置を要望しました。

住民投票を終えて—市民の意思表示である投票用紙は慎重に保管を

都市計画道路3・2・8号線についての住民投票で、51010人が投票した事実は重いと考えます。投票用紙について、選挙管理委員会は条例が失効する90日間の保管としていますが、不成立の住民投票の用紙を永年保存とした市もあります。

生活者ネットワークでは質問後、係争など手続きが未完了の間は条例が失効しても慎重に対応する旨の申し入れを市長と選管委員長に提出しました。

子どもにも親にも豊かさをもたらす、子ども・子育て支援を

保育の充実とともに、男女ともに子育てしやすい働き方の実現を求めました。



投票率アップのため住民投票について周知するための遊説中

小平市議会議員
岩本ひろ子

一般質問

地域防災計画を実効性あるものにするために

現在地域防災計画の見直しが進んでおり、素案へのパブリックコメントを経て、防災会議で修正案が決定し、12月に公表予定です。素案には、ずっと求めてきた女性や子どもの視点が加わりました。実効性を持たせるため、避難所管理運営マニュアルや乳幼児、児童保護マニュアルなどの個別計画への市民参加を求め、前向きな答弁を得ました。また、調布市での「防災教育の日」のとりくみなどを例に上げ、学校との連携で実践的な訓練が必要と主張しました。

市民サービスの質の向上につながる指定管理者制度に

地方自治法の改正で、指定管理者制度が創設されて10年になります。導入目的は、多様化する市民ニーズに効率的、効果的に対応するため、民間事業者のノウハウを活用して、市民サービスの質の向上を図ることです。生活者ネットとしても重要な視点であり、導入されている高齢者館や児童館など38の公の施設で、導入目的に添った管理運営が必要と考えます。

昨年の児童館の指定管理の議案審査で議論された事業者の実績の評価方法、市民サービスに直結する労働環境の確保、事業者の創意工夫や意欲を引き出す工夫、行政がチェックするしくみとしてのモニタリング制度の確立などを現状での課題と捉え質問しました。



初めて指定管理者制度が導入された子ども家庭支援センター室内(左)、入り口(右)

- 6月**
- 31日(金) 肢体不自由児者父母の会総会、ネット議員と一緒に話す会(子宮頸がんワクチンについて)
 - 30日(月) 議会運営委員会、手をつなぐ親の会総会
 - 29日(水) 小平・村山・大和衛生組合臨時議会、商工会総会・懇親会
 - 27日(月) 幹事長会議、会派会議
 - 26日(日) 移動サービス・バイユー・セルフ総会
 - 25日(土) 住民投票周知のための街宣活動
 - 24日(金) 河川改修促進大会
 - 22日(水) 朝駅頭、土地開発公社、会派会議
 - 21日(火) 小平ネット運営委員会
 - 20日(月) スポーツ祭東京2013小平市実行委員会第4回総会
 - 18日(土) 学童クラブ父母連絡会
 - 17日(金) 金曜サロン(みのり村 粕谷さん)
 - 16日(木) 厚生委員会、月例フォーラム 子ども子育て支援3法と市区町村の役割
 - 15日(水) 都議会議員山内れい子さん決起集会
 - 13日(月) 幹事長会議、会派会議
 - 12日(日) 住民投票周知のための街宣活動
 - 11日(土) 市民政調社会保障学習会(介護と医療)
- 5月**
- 27日(土) 反原発西武線100駅アクション(小平駅)、国政フォーラム(参議院議員大河原まさ子さん)
 - 26日(金) 小平ネット環境部会電磁波学習会、金曜サロン(リー 智子さん)
 - 25日(木) 参画課の出前講座(受審)
- 4月**
- 25日(木) 小平ネット環境部会電磁波学習会、参画課の出前講座(受審)
- 3月**
- 3日(月) 会派会議
 - 4日(火) 6月定例議会(本会議初日)
 - 5日(水) 7日 一般質問
- 1日(土)** 子ども8幸せ円卓会議 in こだいら(DVもがれた翼上映&ワールドカフェ)

ネット議員の活動日誌



小平市議会議員
平野ひろみ

トピックス

住民投票制度について
市民と共に考える場を

6月議会では住民投票に関する一般質問が4件ありました。開票を求めるもののほか、常設型住民投票制度についても生活者ネットワークを含め言及がありました。

小平では自治基本条例第14条に市民投票制度が明記されています。逐条解説では非常設型で成立要件など条件もその都度決めるとあり、今回の実施はそれに当たるものです。

しかし、住民投票について常設型がよいのか非常設型がよいのか、あるいは両方をつかえるようにしておくのか、市民が入り検討する必要があります。

常設型にした場合の署名数や成立要件はどうするかなどの条件についても、メリットデメリットを分析・検証していかなければなりません。川崎市では自治基本条例に基づき常設型住民投票について市民も含め検討委員会で議論し、設置にこぎつめました。

小平は常設型については「まず庁内で検討する」との考えですが、これでは市民自治は育ちません。ていねいなプロセスを踏んで市民と共に制度を考える場づくりを引き続き求めていきます。



子宮頸がんワクチン接種の対応について
～副反応被害がひろがらないよう、
正しい情報提供と相談体制を

ワクチン接種による重篤な副反応の事例が報告され、すでに計1926件の被害の実態が明らかにされています。小平でも接種直後に失神があらわれるという事例が2件報告されています。副反応被害の報告が報道されたことで今後相談がふえることも考えられます。子宮頸がんは性感染症であることから男子生徒を含めた学校での正しい情報提供や女性医師による相談が必要と訴えました。

開発条例の改正で
住みやすく快適なまちづくり整備を

駅前の再開発地区では、市主導による「推進地区」としてのまちづくりがすすみます。まちづくり条例にある「地区まちづくり計画」を積極的に取り組むために、議員研修で学んだことをヒントに子どもや大人参加の町歩き・点検会を行うことなど提案しました。

現在検討している開発条例の改正については、これまで度々生じている開発行為に伴う紛争を防ぐため、大規模土地取引行為の届け出期間の見直しや開発事業地の分割防止の要件を加えることを提案しました。また、開発区域内の緑化についても要望しました。



津田菜園跡の戸建て住宅の開発地。
周辺住民が事業者と粘り強く交渉し、道路の整備などに成功した。

- 8日(土) 上水中体育大会、ちたま精神保健医療福祉フォーラム、あしたは天気！コンサート(ゆうやけ子どもクラブ)
- 10日(月) 小平ネット福祉部会、ひとこと提案点検総務委員会
- 11日(火) 生活文教委員会、水と緑の会
- 12日(水) 厚生委員会
- 13日(木) 建設委員会傍聴、都議会議員選挙告示(応援・出陣式)
- 14日(金) 五中体育大会、6小青少年スポーツ祭り
- 15日(土) まちづくり検討特別委員会
- 17日(月) 議会改革推進調査特別委員会
- 18日(火) シルバー人材センター総会
- 19日(水) 小平ネット運営委員会
- 20日(木) 幹事長会議、会派会議
- 21日(金) 自転車スイスイ定例会議
- 21日(金) 議会運営委員会、ひとこと提案点検、子ども8幸せ円卓会議 in こだいら定例会議
- 24日(月) 廃棄物減量等推進審議会、ニースリニール会議
- 25日(火) 大河原まさこわくわく応援団決起集会
- 26日(水) 本会議最終日
- 27日(木) 月例フォーラム 男女共同参画がデザインする「コミュニティ」
- 28日(金) 小平地域協議会、首相官邸前金曜抗議デモ
- 29日(土) 第十七回女と男のフォーラム
- 30日(日) どんぐりと民主主義、ハート4
- 30日(日) 1日(月) 財政研究会会合
- 7月
- 1日(月) 小平ネット福祉部会
- 2日(火) 土地開発公社、ゆうやけ子どもクラブ見学
- 3日(水) 4日(木) 視察(福島県会津若松市・田村市)
- 8日(月) ネット環境部会学習会(電磁波)

※掲載したのは活動の一部です。これ以外にもヒヤリングや調査、相談など議員それぞれに活動しています。